

## ■シナリオデータ

プレイヤー：4人

プレイ時間：5~6時間

## ■ストーリー

2か月前に発生した、地下鉄路線崩落事故。それはCFCのタタラ・羽釜逢真が引き起こした事件だったが、巻き込まれたヒルコの少女・ルウにより想定外の悲劇が発生する。

ルウの親友の少女・鹿鳴館すみれはそこで起きた悲劇に心を病み、父親のレッガー・鹿鳴館剛三は彼女の心を守るため事故の隠蔽を図る。

羽釜は身元を隠しながら剛三に協力し事故の隠蔽に加担しながらも、その悲劇で得たものから新製品を流通させ始め、しかし一方ですみれを除く事故の生存者を、暗殺者を使い 猟奇殺人に見せかけ始末していく。

すみれはルウや事件を忘れるための精神治療を受けていたが、猟奇殺人のニュースを見て理由の分からない恐怖を感じてしまう。ニュースで報じられる死者と崩落事故の関連性を知らない剛三は、すみれを安心させるため『②カブト』を雇う一方、すみれが怯える理由を知るため『④レッガー』に調査を依頼する。

その裏側では、破滅を導くトーキー・“クライムトリガー”ミシェイラ・アイオンが事件を嗅ぎ付け、『③ニューロ』に調査を依頼していた。

そして、ルウの妹、ヒルコの少女・リエが『①フェイト』に依頼を行った時、物語は大きく動き始める。

キャスト達が真相を突き止め、羽釜たちを倒せばシナリオ終了となる。

## ■アクトトレーラー

以下のアクトトレーラーをプレイヤーに向けて読み上げること。

彼女は人を愛していた  
彼女は平穏を願っていた  
彼女は共存を望んでいた

だから彼女は身を捧げた  
誰もが生きることを願って  
幸福な結末を夢見て

秘匿された崩落事故。  
猟奇的な連続殺人。  
姉の死体を探すヒルコ。  
何かにおびえ続ける少女。

絡み合う糸を手繰り寄せた先にあるのは、たった1つの真実。  
それがもたらす未来はさらなる悲劇か、それとも——

トーキョーNOVA THE AXELERATION  
「ニューロエイジの方程式」

—— 最期に選んだ運命の扉は、きっと正解だと信じていた

## ■アクトハンドアウト

### ●コンストラクション

以下の推奨スタイルをペルソナで取得することを推奨する。

『①フェイト』』：探偵

『②カブト』』：ボディガード

『③ニューロ』』：情報屋

『④レッガー』』：河渡連合のレッガー、荒事屋など

#### ▼『①フェイト』用ハンドアウト：

コネ：リエ 推奨スタート：スペード (理性)

関係：依頼主のヒルコ

推奨スタイル：フェイト キャスト間コネクション：『ニューロ』

君は探偵だ。今回君が請け負った仕事は人探し。探偵の仕事としては至極スタンダードなものといえるだろう。持ち込んだ相手が市民権の無いヒルコであり、探す対象が死体である、という点を除けば。

依頼主であるヒルコの少女はリエと名乗った。彼女は言う。双子の姉の死体を探してほしい、と。

【PS：ターゲットを探し出す】

#### ▼『②カブト』用ハンドアウト：

コネ：鹿鳴館すみれ 推奨スタート：スペード (理性)

関係：護衛対象の少女

推奨スタイル：カブト キャスト間コネクション：『フェイト』

君はボディガードだ。相棒 (バディ) を組む“アイアンマン”ルークと共に君が今回引き受けたのは、鹿鳴館すみれという名の少女の護衛。レッガーの重役の一人娘らしい。

2か月ほど前から自室に引きこもっているというその少女は、何か怯え続けていた。

【PS：護衛対象を護りきる】

#### ▼『③ニューロ』用ハンドアウト：

コネ：ミシェイラ 推奨スタート：クラブ (感情)

関係：依頼主のトーキー

推奨スタイル：ニューロ キャスト間コネクション：『レッガー』

情報屋である君の元に舞い込んだのは、過去に起きたある事故の調査だった。

依頼を持ち込んだのはミシェイラという名のトーキー。依頼内容は調査中に行方不明になる人間もいるような危険な案件。胡散臭い依頼人といえやばい匂いのするネタではあるが、ブラチナムの仕事 (ビズ) にビビってちゃあ今どきのニューロは務まらない。

【PS：地下鉄路線崩落事故の真相を探る】

#### ▼『④レッガー』用ハンドアウト：

コネ：鹿鳴館剛三 推奨スタート：スペード (理性)

関係：昔馴染みのレッガー、世話になった恩人など

推奨スタイル：レッガー キャスト間コネクション：『カブト』

君はレッガーだ。ある日、君にとって馴染みの深いレッガー、鹿鳴館剛三から頼み事を受けた。巷を騒がす連続猟奇殺人事件を調べてほしい、という。

依頼内容に若干の違和感を覚えたが、提示された理由は筋が通ったものだし、彼の眼差しは真剣だ。君は調査に乗り出すことにした。

【PS：猟奇殺人事件を解決する】

## ■キャスト間コネクション

①フェイト → ③ニューロ → ④レッガー → ②カプト → ①フェイト

## ■レギュレーション

## ●経験点の使用

本シナリオは、キャストの使用経験点が、100点～200点程度を想定している。敵としてトループ級が出てこないため、対トループ用のスタイル技能やアウトフィットは「消費経験点としてカウントしない」としても良いだろう。

## ●神業

すべてのペルソナとなるスタイルに使用想定ポイントがあるが、必ずしも「その神業」である必要はない。また、キャストの死亡を防ぐために2つ以上、展開や状況によりそれ以上の防御神業が必要となる。なお、ゲストは所持している神業変更技能を使用する可能性がある。これはリサーチを行うことで明らかになる。

## ●最大達成値

ゲストは支援なし・単独でも達成値27、差分値ありの攻撃が可能である。この事はプレイヤーにあらかじめ伝えても良い。

## ●情報収集

アクト中、電脳によるある程度の達成値が求められる場面が幾つかある。また、社会による情報収集判定の目標値は全般的に高めに設定している。

## ●ゲスト紹介

## ▼リエ ◎●ヒルコ=カゲ=アヤカシ

『①フェイト』の依頼主(クライアント)。鳥の遺伝子を持つヤマタイのヒルコ、イラム族の少女。外見年齢は10代後半。ゲストとして扱う。

ルウの双子の妹。姉・ルウの死を直感しヤマタイからやってきた。姉の臭いを追って地下鉄路線崩落事故の生存者を巡るが何れも蜘蛛巣場を先を越されており、『①フェイト』に依頼することにした(そのあたりの詳細はリサーチ4を参照)。種族としての血が非常に濃いため、能力の制御ができず中盤感情に任せて暴走してしまう。FS判定に成功すればクライマックスでキャストの手助けを行えるようになる。

## ▼鹿鳴館すみれ ◎●マネキン=ミストレス=レッガー

『②カプト』の護衛対象。新星帝都大学付属高校に通う黒髪の少女。ルウの親友。鹿鳴館剛三の一人娘。エキストラとして扱うが、神業を使用する。

地下鉄路線崩落事故の惨劇(詳細はリサーチ8)に直面して以来心を病んでおり、精神治療として記憶の制御を受けている最中、事故の生存者が死亡していくニュースを目撃。結果「怯えているがその原因がわからない」状態に陥る。父が非合法な仕事をしている事は知っており、向き合い方がわからず悩んでいる。PLに問題なければ『④レッガー』とは顔見知りとする。

## ▼鹿鳴館剛三 ◎レッガー

『④レッガー』の依頼主。年齢は50前後。「渡りの剛三」と呼ばれ、河渡連合の交渉役として知られている。キャストとの関係はある程度自由に決めて良い。エキストラとして扱う。神業は使用しない。

鹿鳴館すみれの父親。地下鉄路線崩落事故に巻き込まれた娘を世間の風聞から守るため事故の隠蔽を行う。詳細はリサーチ3を参照。娘とのかわり方に日々頭を悩ませている。

## ▼『アイアンマン』ルーク(カオナシ) ◎●カプト=◎カゲムシャ=カプトワリ

企業のロゴを全身に張り付けたナイトワーズン所属の全身義体カプト。陽気な性格でメディアへの露出も多い。『②カプト』と共に護衛任務を引き受ける。普段からパディを組んでいるのか、今回限りののか、友好的な関係なのか等は自由に決めて良い。エキストラとして扱う。神業は使用しない。

実は本物のルークはバカンス中であり、作中のルークは羽釜逢真の腹心・カオナシが成りすましている。しかし目的は純粋に鹿鳴館すみれの護衛。蜘蛛巣場から事件を嗅ぎまわる正体不明の腕利き達(=キャスト)の情報を得た際、すみれの安全確保のため独断で行動してしまう(リサーチ7)。

『②カプト』について悪感情を抱いておらず、このまま相棒を続けて1週間の任務を終えようとしていた。

## ▼『クライムトリガー』ミシェイラ=アイオーン ◎トーカー=●マネキン=フェイト

『③ニューロ』の依頼主。断定的口調で話す20代前半の女性。トーカーとしての知名度は低い。エキストラとして扱うが、神業を使用する。詳細はリサーチ項目を参照。

クライマックスに行われる『暴露』を放置すると数多の参事が発生する。根本的に悪人。死んでも治らない。

## ▼羽釜逢真 ◎●タタラ=クロマク=ニューロ

詳細はリサーチ項目を参照。本質的には善人だがエゴイストであり、「すべての人においしいご飯を食べてほしい」、ただそれだけを願っている。崩落事故の真犯人にして猟奇殺人事件の主犯。詳細はクライマックスを参照。

鹿鳴館剛三の匿名の協力者。剛三に恩義を感じており、すみれを巻き込まない目的で念のためにカオナシを護衛として潜り込ませていたのだが、結果としてそれが裏目に出る事になる。

## ▼蜘蛛巣場 ◎カゲ=●クグツ=チャクラ

猟奇殺人事件の実行犯。詳細はリサーチ項目などを参照。

過去に壊滅した傭兵部隊「蜘蛛巣場」の生き残り。金のためこのみ動く事をモットーとしていた彼らの流儀を守りながら、「蜘蛛巣場は最強であった」事を証明するためにリスクの高い仕事を好んで受け続けている。

『④レッガー』に狙いを定めるのは仕事上のターゲットという理由があるが、『④レッガー』は腕利きや二つ名持ちの場合は蜘蛛巣場の名を上げるための糧として狙う事を宣言する。